

科目名	キャリアデザインⅡ							年度	2025
英語科目名	Career Design 2							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必／選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	長谷川浩司、田中由香	教員の実務経験		有	実務経験の職種		俳優(長谷川)、声優(田中)		
【科目の目的】 個人ワークやグループワークを取り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進め、自分の「キャリアデザイン」を自分自身の言葉で語り、構築できるようになることを目指す。									
【科目の概要】 声優・俳優・タレント業界の知識を学ぶ。また、進路に関しての情報交換をはじめ、セルフプロデュース、オーディション対策などを行う。									
【到達目標】 声優・俳優・タレントの差はなく必要なスキルはまったく同じであると考え、演劇表現を行う者つまり役者の基礎力を高めることを最重要視している。その上で身体全体を使って表現する役者は「俳優」「タレント」、そして声に特化して表現する役者は「声優」「ナレーター」であると捉え、演劇表現の実践教育を通して、豊かな情感・筋力・体力・コミュニケーション力・人間力の習得を目標とする。									
【授業の注意点】 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	声優・俳優・タレント業界の基本的な概念や用語を深く理解し、関連する知識を総合的に把握している。	声優・俳優・タレント業界の基本的な概念や用語を深く理解している	声優・俳優・タレント業界の基本的な概念や用語を理解している。	声優・俳優・タレント業界の基本的な概念や用語を一部理解している。	声優・俳優・タレント業界の基本的な概念や用語を理解していない。				
到達目標 B	キャリアパスや選択肢を広範に認識し、自身のキャリア目標を明確に設定している。	キャリアパスや選択肢について詳細な理解がある。	キャリアパスや選択肢について基本的な理解がある。	キャリアパスや選択肢について一部理解している。	キャリアパスや選択肢について認識していない。				
到達目標 C	業界の幅広い最新情報や動向を常に把握し、その影響や意義を理解している。	業界の幅広い最新情報や動向を常に把握している。	業界の一般的な最新情報や動向を把握している。	業界の一部の最新情報や動向を把握している。	業界の最新情報や動向を把握していない。				
到達目標 D	オーディションの概念やプロセスを深く理解し、他の学生に教えるレベルの知識を持っている。	オーディションの概念やプロセスを深く理解し、実践的な知識を持っている。	オーディションの基本的な概念やプロセスを理解している。	オーディションの基本的な概念やプロセスを一部理解している。	オーディションの基本的な概念やプロセスについて理解していない。				
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い				
【教科書】 レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		キャリアデザインⅡ			年度	2025
英語表記		Career Design 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	レクチャー（1）	エンターテインメント業界の基本的な概念やプロセス、役割、スキル、キャリア展望について理解を深めさせる	1 業界の成り立ち	業界の成り立ちや歴史的背景、変遷を認識する	3	
			2 技術とスキル	表現力、身体表現、演技法などを向上させる		
			3 キャリア形成	声優、俳優、タレントのキャリアパスや専門職の違いを理解する		
2	協働するために必要な能力を養う（1）	協働するために必要な能力を養い、成功させる	1 チームビルディング	チームビルディングの理論や実践方法を理解する		
			2 ロールプレイとチームワークの強化	ロールプレイを通じた異なる役割や状況に対する適応力を身に付ける		
			3 プロジェクト演習	チーム全体での目標を設定し達成する		
3	ゲスト・スピーチから学ぶ（1）	ゲストスピーチを通じて、業界の専門知識や成功の秘訣、プロの経験などを直接学ぶ	1 業界の基礎知識	声優・演劇業界の基礎知識について理解を深めることができる		
			2 ゲストのキャリア体験	ゲストが自身のキャリアで直面した課題、成功体験、失敗から学ぶことができる		
			3 ディスカッション	プロフェッショナルなコミュニケーションスキルを養う		
4	協働するために必要な能力を養う（2）	コミュニケーション能力、リーダーシップ能力を養い、チームでの効果的な協働を促進させる	1 コミュニケーション能力の養成	グループワークなどでコミュニケーション能力を高めることができる		
			2 リーダーシップ	リーダーシップの重要性を理解し、実践的なスキルを磨くことができる		
			3 プレゼンテーション	自分の意見を明確に表現し、他者と共有する能力を高めることができる		
5	レクチャー（2）	将来のキャリア形成に向けて適切なスキル、知識、自己理解を獲得し、自身の強みを活かしたキャリアの選択と進路を明確にする	1 キャリア形成	キャリア形成を探索し、異なる選択肢や可能性を理解できる		
			2 自己ブランディング	オーディションの戦略、面接の対応などを学び、自己ブランディングの重要性を理解する		
			3 キャリア戦略	将来のキャリア戦略を構築し進路を明確にできる		
6	ゲスト・スピーチから学ぶ（2）	ゲストのスピーチから学び、それを声優・演劇の分野で活かすことを目指す	1 スピーチの分析	スピーチを分析し、発声や表現技術、トーン、リズムなどの要素を理解する		
			2 スピーチテクニック	スピーチ技術としての効果的な声の使い方や感情の表現を理解する		
			3 スピーチと演技	スピーチから演劇を学び、感情豊かで魅力的な演技ができる		
7	ミュージカル上演作品	ミュージカルの独特の表現手法や要素、演技のスキル、音楽との調和、および舞台演出を学ぶ	1 ミュージカルの基本	代表的なミュージカル作品や作曲家、振付家、脚本家について研究できる		
			2 ミュージカルの役作り	ミュージカルでの役作りの方法やアプローチ、キャラクターの掘り下げられる		
			3 ミュージカル演技	ミュージカル演技の独特な要素やリアルな演技との違いを理解できる		
8	ゲスト・スピーチから学ぶ（3）	プロフェッショナルの視点や経験を学び、自身のキャリア形成に生かす力を養成する	1 スピーチの理解	スピーチの内容や構造、表現手法を理解する		
			2 スピーチの模倣	スピーチの技術を模倣し、それを自己表現に生かすことができる		
			3 フィードバック	フィードバックを通じて、自身のスピーチや表現を改善することができる		
9	レクチャー（3）	デビューに向けての基本的な知識や準備を理解する	1 基本準備	デビューに向けての基本的な準備やスキルの磨き方について理解する		
			2 ポートフォリオの作成	デビューに向けて必要なポートフォリオの作成方法を理解する		
			3 キャリア戦略	デビュー後のキャリア戦略の立て方や長期的な展望を理解する		
10	劇団四季上演作品	劇団四季の上演作品を通じて、ミュージカルの演技技術や表現方法を学び	1 上演作品の解析	ストーリー、キャラクター、音楽、振付などを解析できる		
			2 舞台演技スタイル	舞台演技スタイルや要求される表現力を理解できる		
			3 舞台制作の理解	舞台制作を学び、舞台デザイン、衣装、照明、音響などの要素が作品に与える影響を理解する		
11	ゲスト・スピーチから学ぶ（4）	ゲストスピーチから学び、表現力や感情の表現方法を理解する	1 スピーチの表現	台詞の選択、抑揚、感情表現などの要素を理解する		
			2 スピーチ技術	声の使い方、リズム、速度、強弱などを通じてスピーチの技術を体得する		
			3 スピーチ演習	学んだ技術を基に、自身でスピーチの演習ができる		
12	社会的義務の遂行（1）	社会的責任と倫理観について理解を深め、芸能活動を行う重要性を認識し、適切な判断力を養う	1 社会的責任	芸能活動における倫理的な基準や社会的貢献の考え方を理解する		
			2 芸能活動の影響	作品や演技が人々や社会に及ぼす影響を理解し、責任ある芸能活動の必要性を理解する		
			3 倫理的理解	倫理的なシナリオや実際のケーススタディを通じて、適切な対応や判断力を理解する		
13	社会的義務の遂行（2）	声優や俳優の役割や作品が社会に与える影響や意義を学ぶ	1 役割と貢献	声優や俳優が作品や演技を通じて社会にどのような貢献をするかを理解する		
			2 社会的意義	社会的意義や価値観について議論できる		
			3 倫理と影響力	倫理観を維持し、社会に対する責任を果たすべきか行動できる		
14	社会的義務の遂行（3）	声優や俳優として社会的な期待や規範、職業倫理に基づいた活動を学ぶ	1 社会的役割	芸能業界が社会的にどのような影響を与えるかを理解する		
			2 職業倫理	プロとしての行動規範、倫理観、職業倫理を理解する		
			3 社会貢献	声優や俳優としてのキャリアが社会的意義を果たす方法を知る		
15	まとめ	将来の芸能キャリアを計画し、自己のキャリアデザインを確立する	1 目標設定	自分の強みや弱みを評価し、将来のキャリア目標を設定する		
			2 芸能業界	芸能業界を研究し将来のキャリアに役立たせる		
			3 キャリアデザイン	情報を活用して戦略的なキャリア計画を策定する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等